

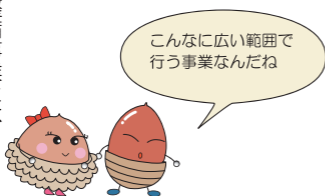
II. 六甲山系グリーンベルト整備事業とは

六甲山系GB整備事業とは

六甲山は災害が発生しやすい条件を兼ね備えており、過去幾多の土砂災害を発生させています。平成7年1月17日に発生した兵庫県南部地震では、六甲山系全域にわたり山体の緩みを生じさせ、多くの山腹崩壊をもたらしました。今後も降雨等により災害が発生する可能性が高く、土砂災害対策を推進していく必要があります。

六甲山系GB整備事業は、六甲山麓地域の健全な生活環境を確保するため、市街地に接する山腹斜面に土砂災害防止を主目的としたグリーンベルト（樹林帯）を保全育成するものです。

II
六甲山系GB整備事業とは



六甲山系GB整備事業対象区域図

整備の目標

六甲山系GB整備事業は土砂災害防止の他、以下の機能をもつグリーンベルトの形成を整備の目標としています。



土砂災害の防止



良好な都市環境、風致景観、生態系および種の多様性の保全・育成

整備の目標像



健全なレクリエーションの場の提供



都市のスプロール化防止

樹林には、いろいろな機能があるんだなあ



整備の内容

土砂災害から暮らしを守るために、以下の整備を実施します。

崩壊地や崩れそうなところ



構造物でしっかり整備

構造物整備

同じ樹種だけによる樹林や倒木などがある樹林



目標とする樹林へ誘導する
整備・管理



・・・20ページへ

伐採や下刈りなどの整備が必要な樹林



その他適正な整備・管理



・・・28ページへ

樹林整備



まず、3つの地域に分けて
それぞれに合った整備をするんだね

危険な場所は構造物でしっかり整備

急な斜面を固定して、崩れることを防ぎます。

構造物を造る際には、周辺の自然環境や景観に配慮するとともに、樹木の根の力を活かしながら、斜面の安定を図ります。

ただし、樹木を残して施工した場合は、将来危険木になる可能性があるため、保存する樹木は維持管理を考慮して選定する必要があります。



地中に鉄筋やアンカーを入れて崩壊を防ぎます
表土や植生を残すことができる鉄筋挿入工



樹木を残した法枠工